

# 懇談会委員意見一覽

## 【基本目標 1】

# 基本目標 1

(1/2)

施策	意見
施策1-1 こどもの権利が守られ、 子どもたちが自分らしく 育つ環境づくり	施策の方向性①にこども若者の意見を尊重する取り組みの推進が追加されたことは良いこと。一方で、個別の事業が紐づくというよりも、いろいろな事業を進めるプロセスでこの方向性を意識するというやや横断的な捉え方もできると感じたが、検討状況はいかがか。  他の施策に随分関わる部分だと思う。こども施策全体に反映させる取り組みになっていくと思う。
施策1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり	施策1-2や施策2-2では、相談にこちらが行くという体制を考えられている。受援力がある人はよいが、気が付いていない人や、そういった力がない人がいることを踏まえ、アウトリーチの視点を加えるべきではないか。産後ケア等、実際にやっている事業もある。
施策1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成	教員採用についてはなかなか制度の問題もあり、難しい中で何が区としてできるのかということでもう少しご検討いただいたり、議論できればというふうに思う。また、指導案通り教えた教科指導調整がよしとするような教員が多く、実際に子供に向き合い切れてないんじゃないかと感じるため、可能な限りできれば、大田区の先生方には子供にしっかり向き合ってもらいたいと思う。  自己肯定感があがっていることが図れる指標があるといいと思った。  地域共生社会を進めるためには、助けあい、繋がりあう福祉教育が欠かせない。生涯学習の施策及び基本目標 1（こどもの分野）に福祉教育を進める記述を加えてはいかがか。

# 基本目標 1

(2/2)

施策	意見
施策1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成	平均正答率というものが指標で上がっていて、もちろんその教育の質向上ということ考えた場合に、1つの尺度として平均正答率をつくるというのは理解できるが、本来の意味で教育の質向上を図るという意味では、底上げをするということが、むしろ重要だと思う。下のレベルを上を上げていって分散を小さくすることと、平均正答率を上げるということを同時にやらないと、今日出てきたような問題ってなかなか解決できないと思うので、そのあたりを考えていただければと思った。
施策1-4「一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備」	教育については別に教育プランもあり、教育大綱もつくっている。その最上位の基本計画の中で、教育力とか、子供の不登校、不登校児といった内容を強く打ち出して欲しい。